



コミュニティ・スクール 太宰府市立太宰府西中学校 学校だより

樟 蔭

令和4年9月5日(月)夏の地域行事振り返り号 文責 校長 島田 二郎



夏の地域行事に参加し、成長しました

8月25日発行の樟蔭7号でも紹介しましたが、今年は3年ぶりに地域行事がいくつかの地域で開催されました。そこでは、中学生もボランティアとして参加をしました。中学生がボランティアとして参加する姿は良いものですが、生徒が提出した報告書を見ると、改めて地域行事に参加する良さ、意義を感じます。そこで、今回は、ボランティア活動報告書に書かれた生徒の声を紹介します。

地域行事ボランティア活動の報告・感想

- ・今までは色々買ったり、友達と回ったりすることが楽しかったが、屋台での仕事も楽しいと思った。
- ・大変だったけれど、とても楽しかった。またやりたい。他のボランティアの機会があれば、お手伝いしたい。
- ・後片付けまであり大変だったが、楽しかった。
- ・もうちょっとしたいと思った。
- ・とても暑い日だったけれど、熱さも吹き飛ばすくらい楽しかった。
- ・地域の方に丁寧に教えていただき、テキパキと動けた。
- ・またボランティアの機会があれば、やってみたい。
- ・商品を渡すと、小さい子や小学生が喜んでくれて嬉しかった。
- ・かき氷を買って楽しそうにしている人をたくさん見ることができて、幸せな気持ちになった。
- ・人から物を買うのではなく、相手に買ってもらい、それを人に渡すのが面白くて新鮮だった。
- ・1つのかき氷を買って食べてもらうために、「氷をつくる人」「シロップをつくる人」「お金や物をやりとりする人」など、色々な人の頑張りがあって成り立つのだと思った。
- ・1人ではできないことを、みんなで協力したらよりよいものが作れるということを、活動に参加して改めて知ることができた。
- ・僕が神輿を担いでいると、地域の方が水をかけてくれたり、飲み物を用意してくれたりして、心がとても温かくなりました。
- ・神輿を担ぐことで、地域の文化と触れ合えてよかった。
- ・公民館の神輿は思った以上に重かったけれど、友達と「わっしょい、わっしょい」言いながら汗まみれに担いだ時間はとても楽しかったし、貴重な体験ができてよかった。
- ・やる前は不安や緊張があったけれど、地域の方が優しく話しかけてくれたり、教えてくれたりして、楽しくボランティアをすることができてよかった。
- ・普段は、地域の方と交わることがなく、すれ違ってあいさつをするくらいしかなかったけれど、今回、お話をすることができて、良い機会となりました。
- ・地域の人とたくさん話せたし、ボランティアをして達成感を感じるすることができた。
- ・地域の方から「ありがとう」と言ってもらえて嬉しかった。



- ・自分が手伝うことで、「私もこの地域の一員だ」と実感できた。
- ・地域のために活動している・貢献している、と感じることができた。
- ・地域に育ててもらったので、ボランティアとして頑張りたいと思った。
- ・来年はもっとおおがかりな仕事をしたい。
- ・地域の方は、温かいと思った。

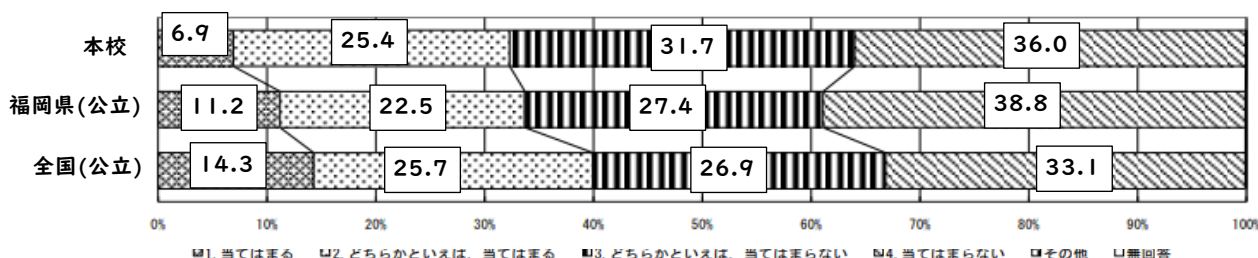


以上のようにたくさんの報告・感想がありました。ボランティア活動に参加した生徒は誰もが貴重な体験をし、満足感や達成感を得ると共に、地域に貢献したことを実感でき、自分自身を成長させることができたと言えます。そして、「また、やりたい」、「もっとやりたい」という声も多数あがりました。ぜひ、これからも子ども達が活躍できる場を地域から提供していただきたいと思います。

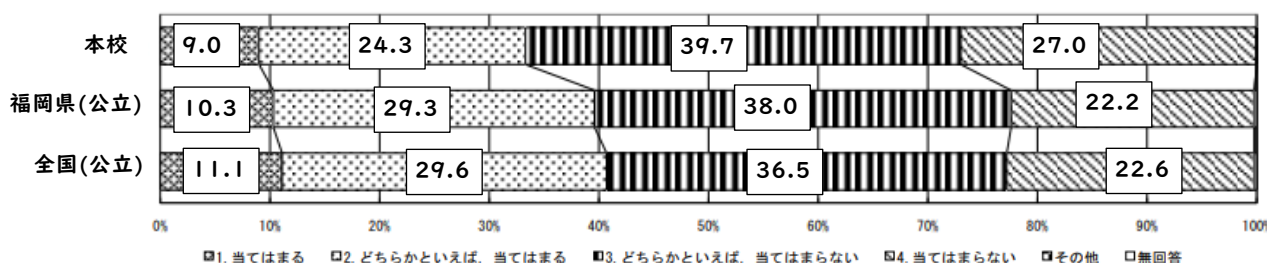
地域に関する意識調査

4月に実施された全国学力・学習状況調査の生徒質問紙の項目に「地域」についての問いが2つありました。その結果が以下のとおりです。

《質問》今、住んでいる地域の行事に参加していますか



《質問》地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか



こうして調査結果を見ると、2項目とも太宰府西中学校は全国、福岡県の数値よりも「当てはまらない」側が多く、地域に対する意識が若干低いことが分かります。この結果の要因の1つとして「コロナ禍」が考えられますが、全国的にコロナ禍となっており、地域の差はあるにしろ、意識が低い要因は、他にも何かしらあると考えられます。地域への意識を高められるよう、学校としても方策が必要です。

今後も次第に、秋祭りや餅つき、その他の地域行事が行われるようになってくるかと思えます。太宰府西中学校では、これまで3年間、コロナ禍で多くの制約を受けましたが、これから地域行事への参加・参画についてできることを模索しながら、活動を広げたり、深めたりすることで、さらに地域で活躍する子ども、自分の育った地域を愛する子ども、地域によりいっそう貢献しようとする子どもの育成に励みたいと思います。そして、地域や保護者の方と『共育』を推進することで、子ども達がますます人として成長し、社会性や生きる力、郷土愛等、様々な力を伸ばしたり、育んだりすることができるようにしていきます。

